

ふみお  
第1部 山崎章郎さん

# 看取りは文化－地域再生の原点に

## ■ホスピスで学んだこと

- ・苦痛症状緩和の大切さ（WHO方式など）－医療
- ・インフォームド・コンセントの大切さ－医療
- ・ボランティアとの協働の大切さ
- ・生きる意味を見失ってしまった人びとへのケア（スピリチュアルケア）の大切さ
- ・グリーフケア（悲嘆ケア）の大切さ



## ■ケアタウン小平

1階

在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション  
居宅介護支援事業所、ヘルパーステーション  
デイサービス、ボランティア拠点  
子育て支援拠点など

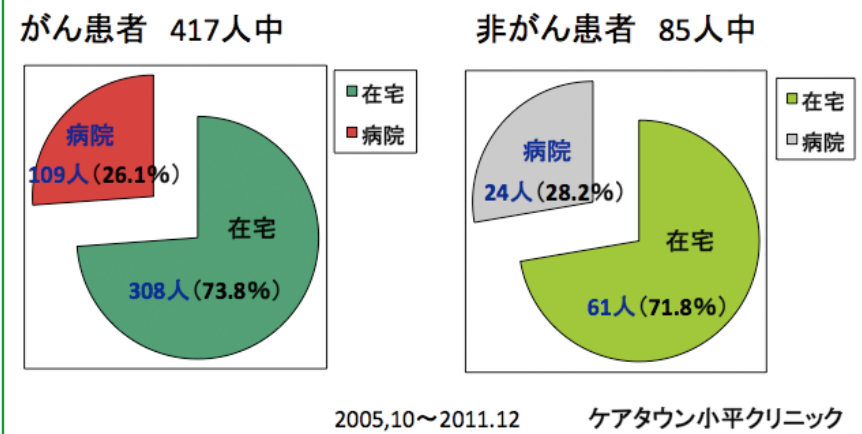
2階・3階

いつぶく荘：賃貸ワンルーム 21戸

デイサービス送迎範囲：2km  
クリニック訪問範囲：3～4km  
訪問看護ステーション訪問範囲：3km



## ■死亡患者 死亡場所 内訳



## ■場の持つ力

1. 苦痛を軽減する
2. 変容する家族の力  
ケアタウン小平在宅遺族会  
「ケアの木」誕生



ケアの木かたろう会



ケアタウン小平スタッフ・ボランティア交流会





みんなの願いを大空へ



被災地支援花を見る会  
いつぶく荘、デイサービス、ご家(遺)族、  
スタッフ、ボランティアの皆さん



文化・スポーツ倶楽部事業  
アロマセラピー、豊かな庭づくり事業  
各種セミナー及び講演会  
地域交流などの企画・運営事業  
子育て及び子供の教育に関する相談支援事業



安心して暮らせるコミュニティは・・・  
最期まで住みたいコミュニティ  
たとえガンの末期であったとしても、  
認知症であったとしても・・・  
最期まで、人権を守られ、  
尊厳と自立(自律)をもって暮らせることを  
保証するコミュニティである。



(ケアタウン小平クリニック 山崎章郎)